

第 70 回
東北地方交通審議会
船員部会議事要録

平成 26 年 8 月 22 日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会

第70回船員部会

日 時 平成26年8月22日（金） 15：30～

場 所 仙台第4合同庁舎 5階災害対策室

出席者 公益委員：長谷部部会長、村上部会長代理、箭内委員、
船津委員

労働者委員：高橋委員、正路委員（欠席）、野田委員

使用者委員：鶴本委員、佐藤委員（欠席）、湯村委員

運輸局：永松東北運輸局長

田中海上安全環境部長

矢島海事振興部長、村木海事振興部次長

遠藤海上安全環境部船員労働環境・海技資格課長

鈴木海事振興部船員労政課長

佐々木労政係長

議 題 (1) 審議事項

船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問について

(2) 管内の雇用等の状況について

(3) その他

配付資料

- 資料1 船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問関係資料
- 資料2 船員職業安定業務取扱状況説明資料（平成26年6月分）
- 資料3 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料4 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）
- 資料5 新規求人・求職数（全国）
- 資料6 有効求人・求職数（全国）
- 資料7 有効求人倍率（東北管内）
- 資料8 有効求人倍率（全国）
- 資料9 人事異動
- 資料10 新聞情報

議事概要

◎開 会

【村木海事振興部次長】

議事に入ります前に、東北運輸局に人事異動がありました。

7月8日付で東北運輸局長が交代し永松健次局長が、8月1日付で海上安全環境部長が交代し田中独歩部長が着任いたしましたのでご挨拶申し上げます。

永松局長から、よろしく申し上げます。

【永松東北運輸局長】

7月8日付で東北運輸局長を拝命いたしました永松でございます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

本来、先月の船員部会でご挨拶申し上げるべきところでもございましたけれども、他の公務と重なりまして今回ご挨拶ということになりました。ご了承いただければと思います。

長谷部部会長初め船員部会の委員の皆様には、日頃から私ども東北運輸局の運輸・観光行政につきまして格別のご支援、ご理解を賜っていることにつきまして、御礼申し上げたいと思います。特に船員部会の関係では、船員の労働環境の改善等につきまして、ご意見或いはご提言を賜っております。厚く御礼を申し上げます。

東北地方に関しましては、東日本大震災に見舞われまして、もう既に3年5ヶ月以上が経っております。この間、被災地の復旧・復興に向けた取り組みというのは着実に進展はしておりますけれども、未だに道半ばというのが現状かと思っております。

運輸局といたしましては、一日も早い被災地の復興に向けまして最大限努力をしていきたいというように考えているところでございます。

船員の関係につきましては、本省に勤務をしておりました頃に、国内貨物課で課長補佐をしておりましたし、船員労政課でも課長補佐をして、その後、船員政策課長を務めまして、当時から船員の高齢化或いは若年船員の不足ということが大きな問題になっておりましたけれども、近年、更に問題が深刻化しているというように伺っております。

東北につきましては、古くから船員の供給地としての役割を担ってきておりますので、我々運輸局といたしましては、離職船員の再就職支援等々の政策はもちろんでございますけれども、次世代を担う若年船員の育成・確保といった対策にもしっかりと取り組んでいきたいというように考えているところでございます。

船員部会の委員の皆様におかれましては、引き続き船員の雇用の安定或いは地位の向上、労働環境改善等につきまして、貴重なご意見、ご提言を賜りますようによろしくお願いを申し上げます。

また、本日議題になっております最低賃金の関係では、改定につきましてご意見を伺う必要がございますことから、8月4日付で東北地方交通審議会の会長あてに諮問させていただきました。

最低賃金専門部会におきまして、しっかりとご審議をいただきますように、よろしくお願いを申し上げます。

以上、簡単でございますけれども、私からのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【村木海事振興部次長】

続きまして、田中部長にお願いいたします。

【田中海上安全環境部長】

私、8月1日付で海上安全環境部長を拝命いたしました田中でございます。

海上安全環境部としましても、海技資格課による指導、また運航労務監理官による労務監査等を通じまして、船員の労働環境の適正化の推進につきまして、努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

私自身は、関東運輸局で、昔の組織ですが、船員労働環境、安全衛生業務などにつきまして行っていたこともございまして、どちらの業務に致しましても一生懸命取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

【村木海事振興部次長】

永松局長と田中部長は、この後、業務の都合がございましてこの場を退席させていただきます。

〔永松東北運輸局長、田中海上安全環境部長退席〕

【村木海事振興部次長】

〔第70回船員部会の成立について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

(1) 審議事項

【長谷部部会長】

それでは、議事に入りたいと思います。お手元にあります議事次第、議題(1)の審議事項ですが、船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問について、配付資料1のとおり、8月4日付で東北運輸局長から東北地方交通審議会会長に対して、最低賃金法第35条第7項の規定に基づき、最低賃金の改正に係る諮問がありました。

なお、審議事項につきましては、東北地方交通審議会運営規則第9条により、8月11日付で東北地方交通審議会会長から当船員部会に付託されました。

では、海事振興部長から、諮問の趣旨を説明方よろしくお願ひいたします。

【矢島海事振興部長】

それでは、今回の諮問の趣旨の説明をさせていただきます。

ただ今、長谷部部会長からご紹介がありましたように、8月4日付で諮問をいたしました最低賃金の改正について、諮問の趣旨をご説明させていただきます。

改めて申し上げるまでもなく、最低賃金は、最低賃金法に基づき賃金の最低額を保障することにより労働条件の改善を図り、もって労働者の生活の安定、労働力の質的向上及び事業の公正な競争の確保に資するとともに、国民経済の健全な発展に寄与することを目的として設定するもので、船員に関しては、適用する地域が全国に及ぶ場合は交通政策審議会に、適用する地域が地方運輸局の管轄区域内である場合は地方交通審議会に調査・審議を求め、その意見を聴いて決定することとしております。

当運輸局管内における現行の4業種の最低賃金のうち、東北内航鋼船運航業及び

木船運航業については平成19年3月21日、東北海上旅客運送業については平成17年3月10日、沖合底引き網漁業については平成26年3月23日、大中型巻き網漁業については平成26年3月23日効力発生の最低賃金が適用されています。

最低賃金の改正にあたりましては、船員の生計費、類似の船員の賃金、企業の支払能力などを勘案いたしまして本審議会に諮問させていただいて、改正を決定することとしております。

全国標準生計費については、平成25年は全体として見ると対前年比でやや減少傾向にありますが、東北地方における消費者物価指数は、平成25年は対前年度比で0.6ポイント上昇し、また消費税率が引き上げられた今年4月は対前年同月比で3.9ポイントアップしております。

燃料価格の高止まり感があるものの、今年度の賃金改定状況や隣接地域の諮問状況、更には昨年度諮問した漁業2業種の審議状況等を勘案し、改正要素は有りと判断し、今年度は東北内航、海上旅客、沖合底引き網並びに大中型巻き網漁業の4業種全てについて、現行の最低賃金に検討を加える必要があると認め、諮問することいたしました。

どうぞよろしくご審議の上、ご答申を賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。ただ今の海事振興部長からの説明につきまして、委員の皆さん、何か質問等ございましたらお寄せ下さい。どうぞ、自由に。

労働側はよろしいですか、どうぞ。（「いえ、何も」の声あり）

使用者はいかがですか、よろしいですか。他にはございますでしょうか。

ございませんでしたら、諮問を受けて、船員部会運営規則第6条の規定により最低賃金専門部会4業種を設置することにしたいと思っております。どうもありがとうございます。

では、続きまして、事務局から資料の船員の特定最低賃金の改正に関して、関係船員及び関係使用者の意見聴取に関する公示案及び船員の特定最低賃金の改正に関する諮問状況について説明をお願いいたします。

【鈴木船員労政課長】

〔船員労政課長より、関係船員及び関係使用者の意見聴取に関する公示及び全国の諮問状況について説明〕

【長谷部部会長】

ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたらどうぞ、よろしいですか。（「はい」の声あり）

それでは、ご了承いただいたということで、次に、専門部会委員の任命と今後のスケジュールについて事務局の方から説明をお願いいたします。

【村木海事振興部次長】

〔海事振興部次長より専門部会委員の任命と今後のスケジュールについて説明〕

【長谷部部会長】

ただ今の説明につきまして何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。（「はい」の声あり）

無いようですので、ご了承いただいたということで、先に進めたいと思います。

(2) 管内の雇用等の状況について

【長谷部部会長】

議題(2)の管内の雇用等の状況について、事務局の方から説明をお願いします。

【鈴木船員労政課長】

〔資料2から資料8に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ありがとうございました。ただ今の報告、何かご意見、ご質問等ございましたら、よろしいですか。

それでは、ご了承いただいたということで、次に移りたいと思います。

(3) その他

【長谷部部会長】

議題(3)その他、情報交換、情報提供ですが、委員の皆さんからの情報をいただきたいと思います。

労働者委員の方からいかがでしょうか。

【高橋労働者委員】

それでは、私の方から。

5月のゴールデンウィーク以降、中型イカ釣り船が、八戸中心ですけども、北太平洋のアカイカ漁に出航したんですが、8月上旬にかけて全船帰港しまして水揚げしております。

それで、漁獲トン数は昨年から比べると55%上回っているという状況で、トン数にして2,830トンという数字です。操業隻数が26隻、前年度は29隻いましたけども3隻ほど減っております。単価ですが、平均でいいますと大体3,090円ほどで、前年度から比べると19%ほど安い水準だというような状況です。

もう一つなんですけど、大型サンマ船が20日から出漁しておりますけども、54隻出漁しております。あと、8月10日には10トン以上20トン未満の船舶、15日には20トン以上100トン未満の船が解禁となっております。

それで、20トン未満の今期操業している隻数が大体60隻以上と、100トン未満の船では27隻が出漁したという状況です。

18日までの累計として733トン水揚げがされております。魚体の方は170グラムが6割以上というような状況です。

漁場の方は、道東から2日半近くかかるロシア200海里内という状況で、浜値の初競りの時ですけども、バラでキロ1,512円から1,080円、18日での花咲での高値が950円とちょっと下がっております。

20日から出た大型船、昨日21日ですか、まだ調査中ということで、漁獲はされていなかったみたいですが、昨日あたりどうだったのかは、ちょっと私も分かりません。以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。豊漁なんですね。

【高橋労働者委員】

ちょっと漁場が遠いということなんです。

【長谷部部会長】

サンマの方が。

【高橋労働者委員】

はい。南下はしてくるでしょうけども、今の時期は遠い場所で漁獲されています。

【長谷部部会長】

北海道沖で獲れなくなったとか、そういう話を聞きましたが。

【高橋労働者委員】

それは刺し網だと思っんです。北海道の小さな船での。

今回話したのは電気を照らしての棒受網の船で、棒受網の前に、刺し網でサンマを獲る方があるんですが、今年は大分漁獲が少なかったようです。

【長谷部部会長】

高級魚になったという例の話で、これ（棒受網漁船）が入って普通（の値段）になったんですか。まだ高いんですか。

【高橋労働者委員】

これが入ることによって、だんだん魚価というか、サンマが大分出回ってくるといような状況になります。

【長谷部部会長】

そして普通になるんですね。

【高橋労働者委員】

ただ、今はまだ漁獲されていませんので、まだ出て2日しか経っていませんので、今後期待したいところです。

【長谷部部会長】

分かりました。大衆の魚になるというお話しです。他にはいかがでしょうか。

よろしいですか。では、使用者側の方はいかがでしょうか。

【湯村使用者委員】

内航海運業の方も諮問いただくということなので、その時の参考になればということでお話しさせていただきます。

今回の新聞情報資料にも内航に関する情報が幾つか載っています。5ページですね。

4年連続100隻超ということで新造船のペースが進んでいるということなんですけども、これだけ見ると非常に活発に新造船が生まれているように映るんですけど、実際のところは、内航船、約五千二百数十隻あるんですが、そのうち船齢14年、法定耐用年数を過ぎた老朽船と言われる14年を過ぎた船舶が、全体の70%以上を占めているといような状況には、さほど変化がないということです。

もっともっと、そのペースを進めて行かなければいけないんですけども、なかなか内航業者の体質的な問題、脆弱な財務状態とか、そういったものも影響してなかなか進まないという状況なんです。もちろん運賃・用船料も、秋口から多少は荷物も増えるだろうといような情報もありますけども、増えましてもなかなか運賃に反映されませんし、運賃に反映されたとしても微々たるもので、まだまだ適正な運

賃とはほど遠いような状況がまだ依然として続いているということです。

ただ、船員不足によって、業界内での引き抜きとかそういった行為もどんどん活発になってきているようで、それを防ぐために業界の方で少し賃金アップを図っているというような状況もありますので、その辺の実態を見ていただきながら審議をしていただければというようにお願いしたいと思います。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。内航関係は、長期的に見た時に、企業戦略的に言うと設備投資は余りしない方向で考えていらっしゃるんですか。

【湯村使用者委員】

基本的にはそうですね。

【長谷部部会長】

将来小さくなるだろうという見通しですか。

【湯村使用者委員】

今は、復興を初めオリンピック関連の需要とか災害復旧なんかもあるんですけども、それは数年先ぐらまでで、その後はどうなるんだろうというような状況があるもので、なかなか船舶の純増というところまでは進んでないですね。

一時的にセメントの需要が高まっているので、セメント船の場合は、純増ではないんですけど、古い船を本来であれば廃棄して新造船に造り替えるんですが、今、新造船、盛んに造られているんですけど、旧船も当分の間、需要が高い間、ダブルで運航していくような状況もあります。

【長谷部部会長】

因みにちょっと聞いていいですか。

耐用年数14年ということですが、実際は何年位まで使えるものなんですか。船にもよるでしょうけども。

【湯村使用者委員】

以前というか、まだ非常に船舶輸送の需要が高いころには、せいぜい17~18年位で造り替えて、旧船を海外売船したりするのが当たり前だったんですけど、最近ではもう20年を超える船がざらにいるんですよ。ですから、七十何%が14年超ですけども、そのうちの半分以上は20年を超えているんですね。まだまだ動かそうと思えば動かせるんですが、非常に効率が悪くなるわけです。燃費も悪いしメンテナンスにも費用がかかるということで非常に効率は悪いんですけど、なかなか新造船に造り替えるというところまでの決断ができないという状況です。

【長谷部部会長】

少し分かりました。ありがとうございます。

他に情報提供ございますか。

【鶴本使用者委員】

先ほど高橋委員の方からサンマの状況が話されましたけど、うちでもサンマをやっているものですから、ちょっとサンマのことについて触れたいと思います。

先ほど話されましたが、やっぱり漁場が二昼夜半、東経154度の北緯47度あたりで、二昼夜のところまで今操業して、昨日の宵に（サンマの群れに）当たった人が陸に向けて、明日の花咲（港）が大体13時から15時あたりの入港になるようです。大型船

で15隻位、245トンぐらい入ってくるようです。

今年は、8月中は予報では低調で、本格化するの9月の中頃じゃないかと言っております。

それから、値段がちょっと下がってきていますので、500~600円までいって、明日は最低でも、二昼夜走りのところの漁場の魚は太っているので、それなりの、最低でも500円はするだろうというような見方をしております。

今年の傾向としましては、(水揚げした魚を運ぶ)運転手さんが足りないんだそうです。その他経費がかかるので、あまり魚を高く買えないというような話を帰り際していました。在庫も少ないし、量が入ることでは期待しております。

それから、気仙沼の船主協会の新規就業者確保育成事業の実績についてちょっとお話ししたいと思います。

これは、東日本大震災以降なんですけども、新規受入数が51名ありました。

定着率と申しますか、どこまで定着率というかちょっと定かじゃございませんけども、現在残っているのが33人。定着率、平均しますと64.47%というようなことで、以前、10年ぐらい前でしょうかね、フィッシャーメンズ・トレーニングセンター(宮城県漁船乗組員短期養成所)ってやったんですけど、定着率が悪くて途中でやめちゃったんですけども、時代が変わったのかどうか、定着率が良くなっております。

それで、免状を取る若者が増えてきておまして、平成22年には一等航海士の平均年齢が45.5歳だったのが、26年の7月31日には43.89歳と1.61歳若返っています。それから一等機関士、これが平成22年には54.24歳だったのが26年7月には53.73歳、0.51歳若返っています。それから、二等航海士は平成22年には52.48歳だったのが現在は51.83歳、0.65歳若返ったということで、少し明るい話題提供になったと思っております。今後とも頑張るってやるというようなことで思っております。以上です。

【長谷部部会長】

大変面白い話をしてくれてありがとうございます。

【鶴本使用者委員】

ただ、漁撈長とか船長、機関長、通信長については、まだその域に達していないんですね、免状取った人達が。ですから、まだ、こうした職務については年齢が若返ってはおりません。

それからあと、漁船においては機関長の不足が去年と比べると更に厳しくなったような感じがしております。

【長谷部部会長】

熟練者は限られているんですか。誰でも入れるわけではないという意味ですか。

【鶴本使用者委員】

そうですね。免状を持ったとしても、やっぱり経験が物を言う、機関長なんかはですね。即機関長をやるわけでもないのに、育てるのに時間がかかるということだと思います。

【長谷部部会長】

賃金上昇圧力は高まっているということですね。

【鶴本使用者委員】

そうですね。

【長谷部部会長】

分かりました。

【鶴本使用者委員】

私も極端な悲観論者なので、労務倒産の時代に一步入ったのではないかと、ちょっと心配しているところなんですけども、これは私のごく個人的なお話ですので。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。

たくさん情報をいただきましてありがとうございます。他にございますでしょうか。よろしいですか。

最賃部会等開かれますので、そういう折にでも、また色々な情報をいただいて、客観的、妥当な最賃の対応ができればというように思っております。どうもありがとうございます。

それでは、もし他に無いようでしたら、本日の議事、終了とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

◎閉 会